

演奏部門

神奈川大学吹奏楽部 殿



□推薦理由

日本を代表する一般大学吹奏楽部として数多くの演奏活動を展開し、その演奏レベルの高さと表現力の豊かさは、聴く人々に多くの感動を与え、世界においても高い評価を受けております。

□推薦内容

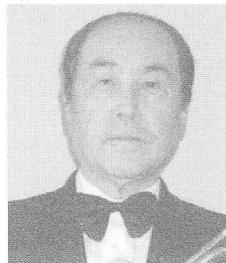
「第11回世界吹奏楽大会」「ミッド・ヨーロッパ」において、日本の吹奏楽作品をプログラムに取り上げ、邦人作品の紹介と卓越した演奏表現で、日本の吹奏楽のレベルの高さを世界中に知らしめました。

□プロフィール

昭和13年（1938年）に吹奏楽部が結成され、現在、部員数120名余りの部として成長。定期演奏会を主とし数多くの演奏活動を展開。1990年、全米大学バンド指導者協会の大会に出場、1996年ハワイ演奏旅行、2000年スペイン・ヴァレンシア国際アンターナショナルプラスコンクールに出場。国内の全日本吹奏楽コンクールにおいては、通算18回の金賞受賞。2回の特別演奏を行っている。

演奏部門

北村 源三 殿



□推薦理由

我が国のトランペット界の重鎮として、これまで数多くの業績を果たされ、演奏者としても第一線で活躍、後進の指導においても多大な尽力をつくされております。

□推薦内容

2003年3月22日・武蔵野市民文化会館において「国立音楽大学退職記念コンサート」を開催、熟年された音楽表現および優れた演奏技術は、多くの聴衆に感動を与えてくださいました。

□プロフィール

京都生まれ、東京芸術大学卒、1960年NHK交響楽団入団。以降25年間主席をつとめる。1962-1965年、オーストリア政府給費留学生として、ウィーン国立音楽アカデミーに留学、東京芸大在学中に第27回日本音楽コンクール管楽器部門第1位入賞。ソロの分野ではN響をはじめ数々のオーケストラと共演を行う。現在、N響団友の他、国立音楽大学理事、日本トランペット協会会長をつとめる。

第14回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

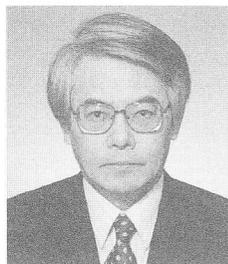
作・編曲部門

* 第14回日本管打・吹奏楽アカデミー賞作・編曲部門は該当なしと決定いたしました。

第14回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

研究部門

有道 惇 殿



□推薦理由

長年、音楽教育および吹奏楽に携わってきた氏が、40年にわたる演奏・指導・指揮活動を著書として発表、その研究活動は後進の者にとっても大変有益なものでございます

□推薦内容

文芸社より「質の高いバンドを目指すには」を発行。生涯学習を見据えた吹奏楽の在り方を様式別作品配列を視点としてまとめられた優れた内容でございます。

□プロフィール

1965年、岡山大学教育学部卒業。同年、東京芸術大学音楽学部委託修了。1988年、文部省在外研究員としてミシガン州立大学等に長期出張。オーボエをD.ストルファー氏、吹奏楽をK.ブルームクイスト氏、器楽音楽教育をR.アーバス氏に師事。オーボエを岩崎勇、梅原美男の諸氏に師事。現在、岡山大学教育学部教授、全日本吹奏楽連盟理事、日本管打・吹奏楽学会会員、日本音楽教育学会会員。

第14回日本管打・吹奏楽アカデミー賞

制作部門

* 第14回日本管打・吹奏楽アカデミー賞制作部門は該当なしと決定いたしました。

啓発部門

自由演奏会実行委員会 殿



□推薦理由

誰でも参加できる自由参加型コンサートとして企画され、若者もとより、中年層を中心とした「休眠愛好家」の掘り起こしも含め、我が国の吹奏楽および管打楽器界の啓発に大きな貢献を果たしております。

□推薦内容

2003年11月29日横浜文化体育会館において「自由演奏会2003」を開催、幼稚園児から60歳を越す方々が日本各地から参加し、多くの仲間との出会いと奏でる感動の共有が行われました。

□プロフィール

「自由演奏会」は、1997年「上野の森プラス」チューバ奏者の杉山淳氏が提唱し、横浜で行われました。自主的に集まった100名足らずの参加者が、自発的に協力し演奏会を成功させたことで、大きな達成感と感動を得ることができました。その後「自由演奏会」は全国各地で開催されるようになり好評を博しています。

特別部門

Alfred Reed アルフレッド・リード 殿



□推薦理由

1981年東京佼成ウインドオーケストラの招聘で来日以降、来日回数は80回を越え、我が国の吹奏楽発展に多大な功績を残され、現在も精力的に活動を展開されております。

□推薦内容

数多くの吹奏楽作品を作曲し、我が国のプロ吹奏楽団・学校吹奏楽・大学吹奏楽団の指導および数えきれない演奏活動を行い、日本の吹奏楽界の発展に大きな功績を残されております。

□プロフィール

1921年1月25日ニューヨーク市に生まれ、10歳からトランペットを15歳から作曲を学びました。18歳で放送局の作曲編曲指揮者となり、1942年から第529陸軍航空隊バンド副指揮者、ディレクターとして活躍。その後ジュリアード音楽院に入学。ヴィットリア・ジャンニーニに作曲を学ぶ。現在、洗足学園大学客員教授。ジャパンスーパーバンド音楽監督。